

たのぼた

復興へのご支援に心から感謝します

踊るばあちゃん えびす顔

11

2013

No.560

10月6日の村復興祈念祭。大宮神楽の「恵比寿舞」には、会場から踊り手が飛び入り。(関連記事は2〜3ページ)





オープニングは田野畑小スクバン



漁協田野畑浜女性部の「鮭のつみれ汁」が振る舞われた



菅窪鹿踊が勇壮に舞う

田野畑村復興祈念祭



鎮魂と復興の思いを胸に



北上市から「行山流口内鹿踊」

復興祈念祭(6日)
～復興祈念の日～
アズビィホール周辺



田中復興太鼓は心揺さぶる鼓動



たのはた児童館と若桐保育園の子供たちはかわいらしい踊り



「復興祈念もちまき」では餅を求める手の向こうに笑顔があふれた



さわやかラプリーコーラスは2日目も美声



甲地鹿踊は激しく



松安知行さんが「田野畑の唄」熱く



青森県藤崎町「さわやかラプリーコーラス」が美声を響かせた



手書きメッセージ入りの
灯籠を海に流した

前夜祭(5日)
～鎮魂の日～

しおさい交流センター



田野畑小浜岩泉地区の子供たちが力強く「弥五兵衛太鼓」



甲地鹿踊保存会は鎮魂の「大念仏」

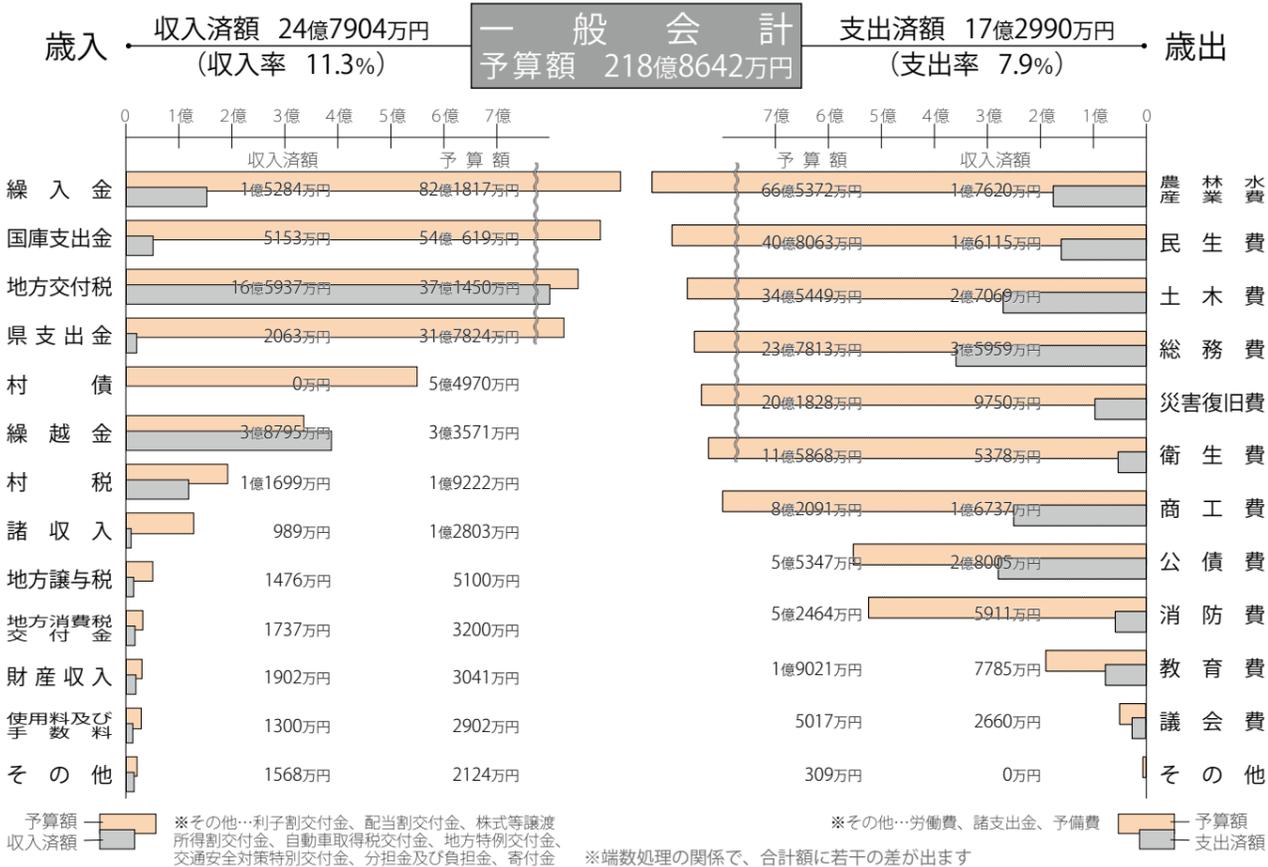


東日本大震災から2年7カ月が経過する10月6日、アズビィホール周辺を会場に「田野畑村復興祈念祭」を開催しました。村の1日も早い復興を願って訪れた多くの皆さん。郷土芸能や歌謡コンサートを楽しんだり、焼き物や鍋料理を味わったりして会場にあふれる笑顔。復興への誓いを一つにしました。

前日の5日には、しおさい交流センター(ホテル羅賀荘隣)で前夜祭を開催。会場周辺に並べたキャンドルの光が幻想的に揺れる中、披露された鎮魂の舞や歌声。海岸では手書きのメッセージなどが書かれた灯籠流しを行い、海に向かいそっと手を合わせる人の姿も見られました。



夜空を彩った打ち上げ花火



特別会計予算の状況

※端数処理の関係で、合計額に若干の差が出ます

区分	事業勘定	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険会計	事業勘定	5億7181万円	2億2801万円	2億5526万円
	直診勘定	1億4605万円	3541万円	6319万円
簡易水道会計		11億8881万円	2524万円	4339万円
集落排水会計		7億2961万円	3282万円	1865万円
下水道会計		4269万円	116万円	1511万円
介護保険会計	事業勘定	4億7421万円	2億1580万円	2億14万円
	サービス勘定	279万円	61万円	100万円
後期高齢者医療会計		3069万円	705万円	532万円
合計		31億8665万円	5億4610万円	6億206万円

村有財産の状況

土地・建物・有価証券など

種別	増減	合計
行政財産	建物 2,900㎡	36,295㎡
	土地 505㎡	2,942,535㎡
普通財産	建物 219㎡	26,265㎡
	土地 -20,589㎡	8,336,905㎡
合計	建物 3,119㎡	62,560㎡
	土地 -20,084㎡	11,279,440㎡
有価証券・その他	0	4億4518万円

基金の状況

種別	増減	合計
財政調整基金	0	23億5496万円
収入証紙購入基金	0	100万円
村民研修基金	0	2317万円
ふるさと基金	0	671万円
村債管理基金	0	2億5645万円
福祉基金	0	1億2830万円
土地開発基金	0	2932万円
福祉医療資金貸付基金	-43万円	157万円
花笑みの村基金	0	1300万円
庁舎及び公共施設整備資金	0	2億5563万円
田野畑むらづくり基金	269万円	2879万円
育英の森造成基金	0	182万円
東日本大震災災害復興基金	746万円	1億5189万円
思惟の森交流基金	0	578万円
東日本大震災津波復興基金市町村交付金基金	0	7億2880万円
東日本大震災復興交付金基金	-4億6366万円	128億5824万円

村は、皆さんに納めていただいた村税や国・県からの補助金などを財源にして、さまざまな事業を実施しています。平成25年度上半期（平成25年4月1日～9月30日）の村予算の執行状況や基金、村債の現在高などについてお知らせします。詳しい内容は総務課（☎34-2111 内線12）にお問い合わせください。

平成25年度

上半期の財政状況

25年度上半期の一般会計予算額は、総額11億4642万円を補正し、218億8642万円となりました。前年同期に比べ88億3370万円（67・7%）の増額となっています。

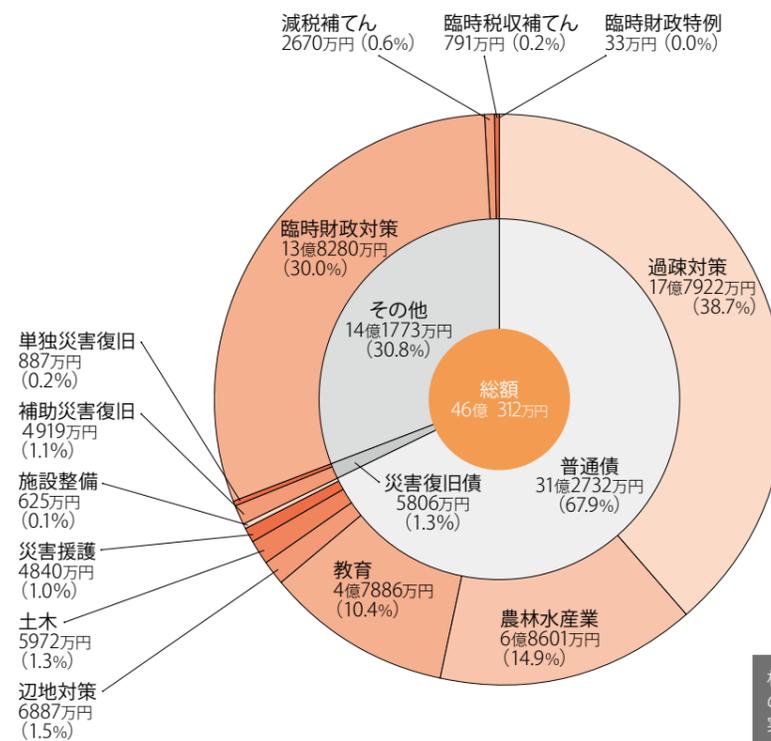
また、予算に対する収支の割合は、収入が24億7904万円、支出が17億2990万円、支出率が71・9%となっています。

補正予算の主な内容は、震災復興住宅再建単独支援（2億165万円）、キャンプ場整備（1億6800万円）、サケ遡上等阻害対策（6800万円）、共同利用漁船等復旧支援（5614万円）となっています。

キャンプ場の整備や住宅再建支援を追加

その他、村道と野平井賀線避難誘導施設整備（5500万円）、島越観光交流センター用地造成（5470万円）、村道と野平井賀線道路改良舗装（4720万円）などを追加しました。

村債現在高の状況（平成25年9月30日現在）



村債残高46億312万円（村民1人当たり122万6,844円）のうち35億2139万円は交付税算入が見込まれるため、実質残高は10億8173万円（同28万8,308円）となります

インフルエンザ 予防しましょう

朝晩の冷え込みが増してきました。これからの季節は空気が乾燥し、インフルエンザの感染が心配されます。一人一人が気を付けることで、感染や拡大を防ぐことができるインフルエンザ。日ごろから予防を心掛けましょう。

感染を防ぐには 日ごろからの心掛け

インフルエンザに感染した場合、特に体力がない子どもや高齢者、妊婦は重症になりやすいといわれています。インフルエンザに感染しないためには、日ごろからの予防が大切です。次の①～④を心掛けましょう。

① 早めに予防接種を受ける

インフルエンザはいつ流行するか分かりません。ワクチンは効果が出るまでに約2週間かかり、約5カ月持続します(個人差があります)。流行してからではなく、早めに予防接種を受けましょう。子どもの感染を防ぐためには、家族など周囲の大人が接種することもとても重要です。

② うがい・手洗いをこまめに

外出後だけでなく、せきやくしゃみが出た後もうがい・手洗いをしてください。

③ マスクの着用

外出するときはマスクを着用し、なるべく人ごみを避けましょう。また、せきやくしゃみが出たら周りの人への感染を防ぐため、マスクを必ず着用してください。

予防接種は早めに受けましょう

村診療所はインフルエンザの予防接種を実施しています。接種回数は1回(ただし13歳未満は2回)。ワクチンが無くなりしだい終了しますので、早めの接種をお願いします。

◆実施期間…平成26年1月31日(金)まで(水曜日午後、土日祝日、年末年始を除く)

◆対象…満1歳以上の村民

◆接種料…無料

◆受付時間

○高校生以下…午後4時～4時30分(月・木・金曜日のみ)

○一般…午前9時～11時30分
午後2時30分～4時

◆持ち物…予診票、高校生以下は母子健康手帳、予防接種手帳(65歳以上で持っている人)

◆村診療所以外での接種を希望する人は、事前に保健福祉課までご連絡ください

効果が出るまで約2週間は必要

インフルエンザの症状は…

- ・38℃以上の発熱
- ・頭痛、筋肉痛、関節痛など

併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、せきなどの症状も出ます。子どもは、まれに「急性脳炎」、高齢者や免疫力が低下している人は「肺炎」を併発するなど、重症になる危険もあります。

全国から力強い応援団

大震災以降、村には他自治体から心強い派遣職員の方々が駆け付けてきています。建設第一課と建設第二課で尽力くださる皆さんを紹介します。(4月の着任者も含め、現在10人)



工藤 真也 建設第二課 技師 (青森県藤崎町)



佐々木 剛 建設第一課 主任 (盛岡市)



上西 智春 建設第一課 主任 (岐阜県高山市)



細川 聡 建設第二課 技師 (復興庁)



藤川 健 建設第一課 技師 (復興庁)



佐藤 真也 建設第一課 主任 (埼玉県深谷市)

アサヒグループから支援 村復興祈念祭に活用

アサヒグループホールディングス(株)(本社東京都、泉谷直木代表取締役社長)から村に、震災復興イベント開催に向けた寄付金100万円が届けられました。贈呈式は10月3日、村民サロンで行われ、アサヒビール(株)の菅原允岩手支社長から石原弘村長に目録が手渡されました。寄付金は10月5、6の両日に開催した村復興祈念祭で活用。村の皆さんに笑顔と元気を届けることができました。

アサヒグループホールディングス(株)からの寄付金を活用して製作した

■寄付金の使用内容

内容	金額 (円)
打ち上げ花火	500,350
軽飲食サービス	144,074
もちまき賞品	100,000
自治協議会等出店補助	89,027
復興ポロシャツ製作	167,410
計	1,000,861

※寄付金額を超えた861円は、村復興祈念祭実行委員会が負担



ポロシャツ発売中

「復興ポロシャツ」。胸元には、復興祈念祭に出演したシンガー・ソングライター松安知行さんが書いた「二歩一歩」という文字をプリントしています。

村復興祈念祭実行委員会では現在このポロシャツ(半袖)を販売しています。販売価格は1枚2000円(税込)。1枚につき500円は、村の災害復興基金に寄付させていただきます。

購入したい人は、実行委員会事務局(役場復興対策課内)で購入手続きをお願いします。

- ◆白: サイズM・L・LL
- ◆黒: サイズM・L



生徒たちの熱演に会場は大きな感動に包まれた

全校生徒の創作劇に会場感動

田野畑中学校（関向正俊校長、生徒105人）の文化祭が10月27日に開催されました。今年のテーマは「With one accord～新たな伝統を～」。午前中の合唱コンクールは、クラスごとに課題曲と自由曲を合唱し、体育館に美しいハーモニーを響かせました。午後は全校生徒が役者やスタッフを担当する全校創作劇「山間のかなたに～生命の架け橋のむこう側に～」を上演。命を守るため橋を架けることを諦めなかった人たちの姿を熱演し、会場を感動に包み込みました。

模型で震災前の島越地区再現

「失われた街」模型復元プロジェクト記憶の街ワークショップが9月30日から10月6日まで、中学校仮設集会所や旧島越児童館などで開かれました。神戸大と早稲田大の学生が、航空写真などを基に震災前の島越地区を再現。地域の皆さんが「屋根は青色だった」「ここで泳いだ」など思い出を話しながら模型に色を付けていきました。実行委員の阪本昌則さん(神戸大)は「記憶や思い出が忘れ去られることなく、未来に受け継がれてほしい」と願っていました。



色を付けた模型を見ながら思い出話で笑顔があふれる

中学生が将来に向け一歩前進

田野畑中学校の2年生31人が9月26、27の両日、村内で職場体験「2Daysトライアル」を行いました。生徒はホテル羅賀荘やアズビィ図書室など9カ所で仕事を体験。若桐保育園では熊谷美咲さんが「子供たちと一緒に遊ぶと楽しい」と笑顔。大川友美さんは「将来は保育士になりたい」と自分の夢を話していました。生徒たちは初めての仕事に戸惑いながらも最後まで真剣。それぞれが職業への理解を深め、進路の目標が今まで以上に明確になったようでした。

(文：工藤鈴斗君、畠山玄君)

若桐保育園で入園児をおんぶし、優しく語り掛ける熊谷美咲さん
(撮影：畠山玄君)



若桐保育園で食事補助に挑戦する熊谷美咲さん
(撮影：工藤鈴斗君)



児童熱演に会場は温かい拍手

田野畑小学校(大芦教子校長、児童161人)の学習発表会が10月20日に開催されました。1年生から6年生までそれぞれが、劇や歌、演奏などで練習の成果を発揮しようと一生懸命。1年生は「おおかみと七匹の子やぎ」をかわいらしく、6年生は三閑伊一揆を題材にした劇「私たちの中に生き続けるもの」で迫真の演技。訪れた多くの保護者や地域の人たちからは温かい拍手が送られました。最後は全校児童が「ふるさと」を合唱。きれいなハーモニーが会場を包み込みました。



2年生は「くさはらのなかまたち」でライオンやネズミになりきって演じた

野球場一投一打に歓声と笑い

がんばろう田野畑！耐久ソフトボール大会(村体育協会など主催)が10月14日、村営野球場で開催されました。集まった約30人が「赤・がんばろう田野畑」と「白・復興！たのはた」に分かれて対戦。試合は序盤から好プレー珍プレーの連続。一投一打に歓声と笑いがおこり、球場は和やかな空気に包まれていました。中村亘さん(38)＝沼袋＝は「久々に体を動かして楽しめました。来年はもっと多くの人に参加してほしいですね」と心地よい汗を流していました。



小学生から大人までの約30人が参加(試合結果：赤14-白5)

僕たちが取材しました

取材先で見た同級生たちが、笑顔で楽しそうに仕事をしていた。その姿を取材することができ、すごくいい経験になりました。将来はこのような仕事に就きたいと思います。

工藤 鈴斗君

いろいろな所に行き、写真を撮ることができてすごくいい経験になりました。行事や大会などに取材に行き、多くの人と交流できるので、このような仕事に就きたいと思います。

畠山 玄君



お知らせ

人口と世帯		火災	
10月1日現在()は前月比		(9月21日～10月21日)	
人口	3,752人(-9)	火災の【今月】	0件
男	1,851人(-6)	発生件数【今年】	1件
女	1,901人(-3)	無火災の連続記録	
世帯	1,433世帯(-2)	(10月21日現在)	225日

ホテル羅賀荘で従業員を募集
 ホテル羅賀荘では、次のとおり従業員(契約社員・パート)を募集しています。
 ◆職種…夜の後片付け業務
 ◆人数…若干名(年齢や経験は問いません)
 ◆給与…時給665円～800円
 ◆勤務時間…午後7時～午前0時
 ◆加入保険…雇用、労災、健康、厚生
 ◆応募期限…11月30日(土)
 ◆応募方法…電話で申し込んでください
 ◆応募・問い合わせ先…(株)陸中たのはた ホテル羅賀荘(☎33-2611 担当:高木)

住宅の耐震化費用を助成中
 村は、住宅の耐震診断や耐震改修の費用を助成しています。耐震基準が変わった昭和56年以前に建てた住宅は、地震に対して弱い危険性があります。まずは専門家による耐震診断を受けましょう。診断の結果、地震に弱いことが分かったときは耐震改修をしてください。尊い命や財産を守るため、地震対策を進めましょう。
 ◆対象…昭和56年5月31日以前に建築した木造住宅
 ◆助成額
 ①耐震診断…1棟当たりの診断費3万円のうち2万7千円を助成(本人負担3千円)
 ②耐震改修…1棟当たり最大で60万円を助成(改修内容で異なります)
 ◆申し込み・問い合わせ先…建設第二課(☎34-2113 内線47)

火災予防を心掛けましょう
 11月9日から15日まで「消すまでは心の警報ONのまま」をスローガンに、秋の全国火災予防運動を展開します。風が強く空気が乾燥し、火災の起こりやすい気象状態が続く季節。家の周りには燃えやすい物を置かないようにしましょう。外出や就寝のときは、火の元の確認を忘れないでください。
 ◆火災予防三つの習慣
 ①寝たばこは絶対にやめる
 ②ストーブは燃えやすい物から離れた位置で使用する
 ③ガスこんろなどのそばを離れるときは必ず火を消す
 ◆火災予防四つの対策
 ①逃げ遅れを防ぐため住宅用火災警報器を設置する
 ②寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐため防災製品を使用する
 ③火災を小さいうちに消すため消火器などを設置する
 ④高齢者や体の不自由な人を守るため隣近所の協力体制をつくる
 ◆問い合わせ先…消防田野畑分署(☎34-2100)

本音で語ろう県議会を開催
 県民の皆さんと県議会議員との意見交換会「本音で語ろう県議会」を開催します。誰でも参加できますので、お誘い合わせのうえ、ご来場ください。
 ◆日時…11月13日(水) 午後6時30分～8時30分
 ◆場所…アズビィ楽習センター
 ◆問い合わせ先…県議会事務局 議事調査課(☎019-629-6021)

11月9日は「119番の日」
 11月9日は「119番の日」。119番通報の際は、「火事ですか? 救急ですか?」と問い掛けます。通報者の名前と電話番号の他に次のような質問をしますので、落ち着いて教えてください。
 ◆火災の場合
 ●住所(近くの目標物など)
 ●何が燃えているのか?
 ●逃げ遅れた人、けが人はいないか?
 ◆救急の場合
 ●住所(近くの目標物など)
 ●誰がどうしたのか?
 ◆救助の場合
 ●住所(近くの目標物など)
 ●どのような事故か?
 ●けが人の状態、人数は?
 ◆その他…119番通報の訓練は、随時受け付けています。詳しくは問い合わせてください
 ◆問い合わせ先…消防田野畑分署(☎34-2100)

住宅用火災警報器の設置を
 住宅用火災警報器の設置が、平成23年6月に義務化されました。火災の早期発見、大切な命を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。
 ◆届け出…設置した人は、田野畑分署に届け出てください。来署するほか、電話やFAXでも届け出が可能です
 ◆その他…消防署は、警報器や消火器などの訪問販売は行っていません。悪質な訪問販売には十分注意してください
 ◆届け出・問い合わせ先…消防田野畑分署(☎34-2100、Fax34-2354)

放射性物質濃度検査 全箇所が目安以下

◆検査結果(測定日・10月15日)

測定場所	平均測定値 (マイクロシーベルト/時)
田野畑小学校	0.066
田野畑中学校	0.072
たのはた児童館	0.057
若桐保育園	0.068
役場	0.092
アズビィ楽習センター	0.084
村宮野球場	0.031
思惟大橋公園	0.051
北山崎園地	0.057
山海ろばたハウス	0.089
鶴の巣断崖園地	0.073

◆調査結果…文部科学省による校庭、園庭の空間線量率目安(1時間当たり1マイクロシーベルト)を下回りました
 ◆問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線20)

羅賀荘「友の会」の皆さまへ
 ホテル羅賀荘「友の会」会員の皆さまには長年、当ホテルをご利用いただき感謝いたします。弊社では、震災後の営業再開を機に「友の会」会員制度を廃止させていただくことにしました。廃止に伴い、皆さまからお預かりしている入会金を返金いたします。お手数をお掛けしますが、会員証券を持参のうえ、ホテル羅賀荘で手続きをお願いします。
 ◆返金期限…平成26年3月31日
 ◆問い合わせ先…(株)陸中たのはた ホテル羅賀荘(☎33-2611)

児童虐待はすぐに通報を
 11月は児童虐待防止推進月間です。児童虐待の相談件数は全国的に年々増加。子どもが犠牲になる悲惨な事件も多くなっています。「気になる」「おかしい」と感じたとき、子育てに悩んだときは、すぐに相談窓口ご連絡してください。地域の将来を担う子どもの健やかな成長を地域全体で見守りましょう。
 ◆相談窓口…生活環境課(☎34-2114)、保健福祉課(☎33-3102)、村子育て支援センター(☎37-3577)、宮古児童相談所(☎0193-62-4059)

男性対象に料理教室を開催
 男性が自らの健康に気を配りながら元気に暮らせるように、料理教室を開催します。
 ◆日時…11月13日(水) 午後6時～8時
 ◆場所…保健センター
 ◆対象…料理に興味のある男性
 ◆定員…15人
 ◆講師…村食生活改善推進員
 ◆申込期限…11月7日(木)
 ◆参加料…350円(テキスト代)
 ◆持ち物…エプロン
 ◆申し込み・問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

義肢などの巡回相談を開催
 ◆日時…11月29日(金) 午前10時30分～正午(受付は11時まで)
 ◆場所…宮古市総合福祉センター(宮古市小山田2-9-20)
 ◆申込期限…11月15日(金)
 ◆申し込み・問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

くらしのなんでも相談会を開催
 仕事、お金、病気、人間関係や法律など生活の困りごとに無料でお答えします。村外の専門家が対応し、秘密は守られますので、安心してご相談ください。
 ◆日時…11月21日(木) 午前10時～正午
 ◆場所…村保健センター
 ◆申込期限…11月20日(水)
 ※申し込まなくても相談できますが、申込者優先となります
 ◆申し込み・問い合わせ先…あすからのくらし相談室・宮古(☎0193-64-2400)、保健福祉課(☎33-3102)

宮川大助・花子さんが来村
 NHKBSプレミアムの番組「きらり!えん旅」で、宮川大助・花子さんが本村にやってきます。11月14日(木)～16日(土)の3日間、村内で撮影を行いますので、見かけたら気軽に声を掛けてください。16日には、アズビィホールで漫オモニライブを開催。入場には整理券(6日から配布)が必要です。
 ◆ライブ日時…11月16日(土) 午後1時～2時
 ◆整理券配布場所…役場、教育委員会(配布は1人2枚まで)



広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課(11月20日まで)にお送りください。正解者の中から抽選で8名様に、復興祈念祭の出演者から頂いたサイン色紙が当たります。

Q1 田野畑中学校2年生の職場体験。工藤鈴斗君と畠山玄君が体験したのは?

- A) 若桐保育園での保育
- B) 広報たのはたの取材

Q2 復興祈念祭で頂いたサイン。誰のサイン色紙がほしい?(A~Dの一つを選んでください)

- A) 松安知行
- B) 小田代直子



- C) アンダーエイジ
- D) 大沢桃子



■前号(10月号)の正解
Q1→A、Q2→B

■当選者(敬称略)

※福田こうへいさんのサイン色紙
上山明美(田野畑)、橋本花音(真木沢)、小長根香奈子(机)、佐々木精儀(菅窪)、中村幸枝(浜岩泉)

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

3091万2,904円 (10月21日現在)

500件(村内106件、県内140件、県外254件)

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課(☎34-2111 内線15)までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間: 11月2日(土)~12月2日(月)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
11月2日(土)	診療所休診			診療所
	田野畑村教育の日のつどい	アズビィホール	9:00~12:00	教育委員会
	村民文化展(5日まで)	アズビィ楽習センター	9:00~18:00	教育委員会
6日(水)	アズビィ健康スポーツ教室「バドミントン教室」	アズビィ体育館(毎週水曜日)	20:00~21:00	教育委員会
8日(金)	アズビィ健康スポーツ教室「ヨガ教室」	アズビィホール	18:30~20:30	教育委員会
9日(土)	オリンピックデー・フェスタ in 田野畑	アズビィ体育館	9:30~13:00	教育委員会
11日(月)	アズビィ健康スポーツ教室「卓球・ソフトバレー教室」	アズビィ体育館(毎週月曜日)	19:30~21:00	教育委員会
15日(金)	アズビィ健康スポーツ教室「ヨガ教室」	アズビィ体育館	18:30~20:30	教育委員会
16日(土)	NHKBS7「アツく!きらり!えん旅」宮川大助・花子漫才ミニライブ	アズビィホール	13:00~14:00	政策推進課(内線62)
20日(水)	乳児健診	健診センター	13:00~15:30	保健福祉課
25日(月)	巡回健康相談	沼袋地区公民館	10:00~11:30	保健福祉課
26日(火)	人権フェスタ in たのはた映画「だいじょうぶ3組」上映会	田野畑中学校	13:40~16:00	生活環境課(内線21)
12月2日(月)	国民健康保険税6期納期限			税務会計課(内線31)
	介護保険料6期・後期高齢者医療保険料5期納期限			生活環境課(内線22)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

おめでた おくやみ

[平成25年9月届け出分]

(一部敬称略)

●健やかに ~誕生~

小長根 愛鈴(あいり)ちゃん
直・奈保子 机

♥未永く ~結婚~

三浦 徳人 羅 賀♥羅 賀
熊谷 知子 羅 賀

■安らかに ~お悔やみ~

山根 順平(78) 羅 賀
東井 雄造(86) 田野畑

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口へ申し出てください

はまなす号巡回カレンダー

期間: 11月20日(水)~21日(木)

◆はまぎくコース(机・北山方面)

月日	場所	時間
11月20日(水)	グループホームつくえ付近	9:40~10:00
	北山地区総合センター	10:10~10:25

◆たんぼぼコース(真木沢・切牛方面)

月日	場所	時間
11月20日(水)	佐藤進氏宅付近	11:05~11:20
	望洋館	11:30~11:45

◆おきなぐさコース(沼袋・甲地方面)

月日	場所	時間
11月21日(木)	産直プラザ尾肝要	9:45~10:00
	山栄会リアス倶楽部付近	10:10~10:40
	甲地公民館	10:50~11:05

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

はまなす 掲示板



田野畑体育会Aが年の差約40歳のたすきリレー

第42回村駅伝競走大会(村体育協会主催)が10月27日、旧浜岩泉児童館付近から明戸地区までの5区間19・1キロのコースで開催されました。今年7チームが参加し、たすきをつなぐ熱い戦いを繰り広げました。優勝は田野畑体育会A。1区の上山さんが区間賞の走りでトップに立つと、4区5区でも区間賞。5大会ぶり6回目の優勝を飾りました。走り終えた選手は、走る喜びを感じているようでした。

たすきをつなぐ
熱き戦い

■第42回村駅伝競走大会記録一覧(敬称略)

順位	チーム名	第1区		第2区		第3区		第4区		第5区	
		順位	3.4* _区	順位	4.7* _区	順位	3.1* _区	順位	2.3* _区	順位	5.6* _区
1	田野畑体育会A 1時間11分52秒	1	上山 阿登夢 11分47秒	4	畠山 勝男 17分26秒	3	畠山 徳夫 12分49秒	1	熊谷 諒 9分11秒	1	小野 順市 20分39秒
2	沼袋体育会 1時間13分25秒	2	藤島 夢也 13分10秒	2	吉塚 恭次 16分25秒	1	吉塚 公太郎 11分46秒	3	熊谷 宗矩 10分07秒	3	佐々木 潤 21分57秒
3	羅賀体育会 1時間14分42秒	4	小野寺 祥史 14分12秒	1	中村 修 16分22秒	4	大澤 隆成 13分23秒	2	坂下 晴哉 9分37秒	2	川畑 勝也 21分08秒
4	マーメイド切牛 1時間15分22秒	3	熊谷 和宏 13分53秒	3	熊谷 知大 16分57秒	2	和山 雄仁 12分12秒	3	熊谷 学大 10分07秒	4	中田 和利 22分13秒
5	田野畑体育会B 1時間32分59秒	6	熊谷 里生 15分21秒	6	大木 洋斗 21分44秒	5	八角 達成 13分52秒	5	根木地 巧 11分38秒	6	佐々木 栄春 30分24秒
-	平井賀ボトラーズ	7	田野畑 昭宏 18分49秒	5	大澤 健 21分16秒	6	中里 知宏 14分44秒	-	棄権	5	畠山 明 25分56秒
-	はまなすRC	5	佐々木 賢司 15分10秒	-	棄権	7	和山 宗博 15分57秒	6	千葉 松男 12分34秒	7	牧原 亨 31分19秒

5大会ぶり6回目の優勝を飾った 田野畑体育会A



監督
畠山輝男さん

3区
畠山徳夫さん

5区
小野順市さん

1区
上山阿登夢さん

4区
熊谷諒さん

2区
畠山勝男さん

選手にインタビュー

1区 上山さん
自分の走りをする事ができました。優勝できて素直にうれしいです。

2区 畠山さん
1位でたすきを受け焦りました。追い抜かれないように必死で走りました。

3区 畠山さん
Aチームに選ばれたからにはと思い、足を引っ張らないように全力でした。

4区 熊谷さん
練習の成果が出ました。走る機会を与えてくれたことに感謝しています。

5区 小野さん
まさか優勝できるとは思っていませんでした。団結力と気合の優勝です。

平成24年度
一般会計・特別会計決算を認定

平成24年度一般会計決算及び国保特別会計など6つの特別会計決算は、9月24日から27日までの3日間にわたって決算特別委員会（委員長・中村勝明議員、副委員長・宮森鋭幸議員）で審議したあと、最終日27日の本会議でいずれも認定されました。

石原村長就任後初の9月定例会は、9月20日から27日までの8日間の会期で開かれました。定例会初日に村長の所信表明演説が行われ、その後報告1件、議案9件、原案どおり可決し、2日目には一般質問議員6名が登壇、村の姿勢を質問しました。又決算認定7件を審査するため、議長を除く全議員で構成する決算特別委員会を設置しました。最終日には議案1件、同意案1件、発議案2件が追加され議案1件、発議案2件が審議され可決されました。なお、同意案1件は起立少数により否決されました。

※村議会だよりは広報編集委員会（委員長・中村勝明議員）で編集したものです

議決した主な議案等

●平成24年度田野畑村の財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

財政の健全性に関する比率の公表が行われ平成24年度の健全化判断比率が次ぎのとおりです。

実質赤字比率と連結実質赤字比率は赤字でないため該当しませんが、実質公債費比率（標準財政規模に対する借金の比率）は10.8%で早期健全化基準25.0%を下回り、第3セクターへの負担も含めた今後予想される将来負担比率15.00%で早期健全化基準350.0%を下回っており、現在の状況下では国の基準を大きく下回る健全な財政状況といえます。

■健全化判断比率

比率名	平成24年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	15.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%
実質公債費比率	10.8%	25.0%
将来負担比率	15.0%	350.0%
実質赤字額または連結実質赤字額がない場合は「—」		

●一般会計決算 歳出総額1億87億2554万円、予算現額に対する執行率83.78%（翌年度に26億8043万1千円を繰り越すもの）

●国民健康保険特別会計決算 ○事業勘定 歳出総額5億6322万円、予算現額に対する執行率94.25% ○直診勘定 歳出総額1億3359万円、予算現額に対する執行率91.82%

●簡易水道特別会計 歳出総額1億5741万円、予算現額に対する執行率65.99%（翌年度に6200万7千円を繰り越すもの）

●特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 村長の給料を平成25年10月から平成27年3月まで月額19万6500円（10分の3）を減額するもの。

●平成25年度一般会計補正予算（第6号） 歳入歳出予算の総額に5億1931万7千円を追加し、総額を21億8664万1千円とするもの。主なものは、次ぎのとおり。

- ・派遣職員人件費負担金 6000万円減額
- ・旧岩泉高校田野畑校特別教室棟等解体事業 1265万円計上
- ・財政調整基金積立金 3億3240万8千円追加
- ・東日本大震災復興交付金基金積立金 676万1千円追加
- ・岩手県東日本大震災復興交付金返還金 873万1千円計上
- ・共同利用漁船等復旧支援事業補助金 516万4千円追加
- ・漁業集落道和田野畑平井線改良舗装事業 5500万円追加
- ・田野畑村観光振興企業経営支

- ・援補助金（観光船建造整備） 9000万円追加
- ・島越観光交流センター整備事業 5470万円計上
- ・道路除雪業務委託料 1000万円計上
- 平成25年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 事業勘定の歳入歳出予算の総額に1億868万5千円を追加し、総額を5億7181万3千円とするもの。主なものは、療養給付費等負担金返還金1868万5000円追加。
- 平成25年度集落排水特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算の総額に3139万8千円を追加し、総額を7億2960万9千円とするもの。主なものは、一般会計への繰出金3126万4千円計上。
- 平成25年度介護保険特別会計補正予算（第1号） 保険事業の歳入歳出予算の総額に368万3千円を追加し、総額を4億7420万9千円とするもの。主なものは、療養給付費等負担金返還金1868万5000円追加。

- 岩手県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少の協議に関し議決を求めることについて 平成26年1月1日をもって滝沢市に市制移行する岩手郡滝沢村を平成25年12月31日をもって岩手県自治会館管理組合から脱退させようとするもの。
- 村道路線の認定に関し議決を求めることについて 田野畑村羅賀（村道田野畑平井賀線分岐点）から田野畑村羅賀までの間を村道野場線と新たに村道に認定した。
- 村道路線の変更に関し議決を求めることについて 田野畑村和野（田野畑平井賀線分岐点）から田野畑村和野35番地7（海鳴台団地）までの間の終点を田野畑村和野37番地1に変更し村道海鳴台線の道路改良工事を行うため。
- 田野畑村マレットゴルフ場災害復旧工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて 工事請負契約を396万6900円増額し変更後を1億9401万6900円とするもの。
- ・受注者 大豊建設（株）東北支店

一般質問



佐々木 芳利

●田野畑村教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて 石岡三郎委員が平成25年9月30日をもって任期満了となる同委員の任命について提案されたが起立少数で否決されました。

●平成25年度田野畑村災害公営住宅宅買取事業（羅賀地区羅賀）に係る基本協定の締結に関し議決を求めることについて 羅賀地区（通称記念林）に災害公営住宅7棟を建築するため建築する事業者と基本協定を締結しようとするもの。

〈質問〉 石原村長における村政運営の基本方針、方向性を伺いたい。〈村長〉 現下の最大の課題は、人口減少と過疎に耐え抜きながら復旧・復興を「新生たのはた」へと

結びつけることです。人口が減少する中で、生産年齢の人口が大幅に減少する見込みであり、この構造的な変化を想定した地域づくりを進めなければならぬ。

東日本大震災はこれまでとは違った人の動向が見られ、住み続けられたい村へと進め、時代・社会の変化に対応していく村政が必要である。過疎の問題は、労働配分の範囲が限られることがネックになってきます。ピンチをチャンスに変え、人生豊かな多くの先輩諸氏が生きがいを見出し、健康に暮らせる地域づくり、青年・女性が新たなジャンルの開拓などの人材育成・情報化等の醸成、支援をして参りたい。

〈質問〉 大震災対応の検証、総括、見直しの内容について伺いたい。

〈村長〉 3月11日の避難の動向、現状分析・将来などを勘案し、被災地域毎の意見集約と現場踏査等を行うものです。防災計画の見直しと併せて防災意識の高揚と防災の機能の強化を図って参る作業です。気象条件や諸条件を課しながら、防災の検証・総括をするもの

です。

〈質問〉 第3セクターに対する基本的な考え方を伺いたい。

〈村長〉 第3セクターは公共性と効率性を両立し、雇用の創出、地域振興という自活の産業づくりの経営方式です。この経営は、業務の外部化、民間企業が参入しにくい地域産業・地域おこしでもあり、同時に地域経済への支援・地域の特性を生かした産業育成という使命を持ち合わせていることから、産業のあり方・取り組むべき課題等も含め、第3セクターの持つ使命を果たしながら、地域経済への貢献、変化への対応も図っていく考えです。



菊地大 議員

〈質問〉 待機児童は、全国的な問題でもあり、本村は4月時点で4名の待機児童、そして聞くところによると現在はさらに増え8名、二ケタとも言われ、緊急的な対応が必要と感ずますが、今後の見通し具体的な考えを伺いたい。

〈村長〉 村長就任後、若桐保育園の保育士、並びに田野畑児童館の

の仮置き場は採草地として復旧、再生することとなっています。

〈質問〉 災害の復旧・復興事業は、政権が変わったわけですが見直す必要が生じているか伺いたい。

〈村長〉 復興交付金等の活用に関して各種復旧、復興事業、57事業を今エントリしている。現下はこの計画に沿って事業を展開しながら、今後事業を進めていく中で、皆さんとの意見交換及び審議をする中で、足すべきもの、そして不都合の生じているもの、または必要なものについては適宜見直しをしていく考えです。



小松山久男 議員

〈質問〉 村民による村民のための政策会議で、諮問会議をつくらしたら、いつ、どんなメンバーで組織するのか伺いたい。

〈村長〉 一人の能力というのには限られております。そして、村民参加、その英知を集めること、政策の選択肢はその分だけ広がり、かつ地域社会が成熟に向かつて、その道しるべになると思っています。特にも大震災における村民が政策決定の過程に参加すること、次代をともに創造することが求められており、会議の構成等については検討すべき事柄等、柔軟にその運営を図っていく考えです。

確保は最も即効性のある対策を考えていたところです。協議会に要請し、幅広い人材の就業の打診を重ねていただき現時点での就業を得られない状況です。

運営は、社会福祉協議会に委託していることから、人的な体制を整えること、職員の待遇改善を図ること、人的な基礎固めを整えなければならぬと考えている。

〈質問〉 ホテル羅賓荘は、東日本大震災を経過し運営状態は非現実的なものから徐々に中味の整ったところが見えて来ているが、経営に対する考え方や対策、戦略を伺いたい。

〈村長〉 平成24年度の決算第45期実質4か月の営業期間で当期の純利益は710万円計上されていますが現状に甘んずることなく農林水産業の持つ多様な機能、営業資源を有するホテルとして、その利活用開発能力を十分に発揮する戦略を検討して参りたい。

〈質問〉 本村には、泳ぐ場所がなく、そのため泳げる児童が少なく、そのためか泳げる児童が少ないと聞いており、プールの設置は必要と感ずるが見解を伺いたい。

〈村長〉 学校教育以外の教育で身につける必要性が高い能力として、教材の基礎的な学力の向上、人間関係を築く力、善悪の判断の力、

現時点で案件等、要綱をつくらせて、付すべき事柄をかけることで会議で準備をしています。問題点や我々が専門的な知恵をいただくこともあり、条例等に伴うような考え方でやる場合には3月を目途に行うが、諮問会議は、庁内での検討会議もあり、できることは直ちに対応し柔軟な運営をして参りたい。

〈質問〉 給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正し、平成25年10月から平成27年3月までの間、村長の報酬3割をカットすると決定した。また、ほかの三役等の特別職についての考えを伺いたい。

〈村長〉 被災者が仮設にいる間は苦楽をともにしたいということでその内容をご承認いただいたところであります。また、その他の特別職について減額は考えていないところです。



中村勝明 議員

〈質問〉 被災者への医療費、介護保険利用料の免除措置が本年12月までと県、国もなっている。今後

自ら学ぼうとする意欲、社会生活に必要な常識等、基本的な生活が義務教育の教育調査でも明らかになっています。

全ての教育活動に共通のものであり、田野畑で生まれ育った児童生徒が教育の機会を持てるということは義務教育の最低限のものであると認識しています。村としては水泳教育ができる環境づくりを進め、教育委員会がプール整備に関して整備の方向性や指導体制等を含めながら多面的に検討に入っているところです。



宮森鋭幸 議員

〈質問〉 災害廃棄物は浜岩泉地区などに運搬され、宮古地区広域へと運搬作業が行われていることと思います。現在この廃棄物の処理状況はどのようになっているか伺いたい。

〈村長〉 村内の仮置き場からの搬出はほぼ完了し、今後は仮置き場の復旧に向けた取り組みを行う予定です。仮置き場の復旧は、土壌調査を行い、その結果に応じて必要な措置を講じた後、浜岩泉地区

の動向を村としてどう把握し、今後どういう見通しを立てているか伺いたい。

〈村長〉 現在国、県の財政支援は減免額の8割を国が補助し、残り2割を市町村が負担することを基本としており、臨時特例的に県が市町村負担の半分を補助することを実施しています。市町村負担につきましては、国保会計及び介護保険会計で賄うこととされており、1月以降については国、県の今後の制度支援策の動向を見ながら検討して参りたい。

〈質問〉 南部三閉一揆発祥の地、弥五兵衛、太助を生んだ村として、これを村の産業振興、あらゆる面に生かさない手はないと思うわけですが、長期的視野に立った展望について伺いたい。

〈教育長〉 各地区に存在する文化的資源は、アズビイプラン21の冊子の中にも載せています。各地区毎に掘り下げていただき、田野畑地元学として掲載しています。さらに講師等を招いて学習や体験活動等行う場合は費用も予算化しています。今後これらの事業あるいは予算等を活用しながら充実した芸術文化活動を提供していく取り組みをして参りたい。

〈質問〉 就学援助制度の果たして

いる役割、そして村の基準等、見直しを求めたいわけですが見解を伺いたい。

〈教育長〉 義務教育の円滑な運営に資するということが目的であり、従来の認定基準のほかに、3月11日の東日本大震災で被災した世帯主で主たる生計維持者が死亡あるいは住宅の被害が全壊、大規模半壊以上の被害があった世帯などの新たな基準に該当する場合は、平成26年度までの3年間に限り認定が増やされ、その中にPTA会費や生徒会費、クラブ活動費などが含まれています。

認定の仕方は、以前は民生委員の御意見もいただきましたが、今は教育委員会の担当者が精査をして、最終的に私のところで認定をしています。ただ、必要な場合は校長、民生委員の意見を聞くなど、そういう場合があります。26年以降、PTA会費とか生徒会費等についても認定するか、周辺を見ながら検討して参りたい。



中村 芳正

〈質問〉 総括による新生たのは

た村づくり、総合的な土地利用で住宅の再建、産業の構築を公約されたが具体的な方針を伺いたい。

〈村長〉 事業等は、今ある事業を再評価し、付け加える事業も加味しながら、全体として事業をどういうふう配置するのか、新たな総合的な土地利用計画の策定をしながら具体的な事業の計画をして参りたい。

土地利用は、産業振興をする上で必要な施設について、水産にあつては漁業協同組合との話し合いを踏まえ計画をし、土地利用に反映する前段として、各漁業協同組合等が施設や土地をどのように利用するか、それが前提となり、関係機関との協力を得ながら具現化して参りたい。

〈質問〉 古い政治とはどんな政治か、そして目指す新しい政治とはどんな政治か伺いたい。

〈村長〉 有権者のこれまでの古い流れを脱してほしいという多くの寄せられた声に応えたものです。古いとは否定ではなく、変わりたい、変えたいという思いの有権者の心の叫びだと感じており、一端選挙として有権者の審判を得たこの時点で、私はこれを評価することは避けたい。その民意を酌み取り、村民のための行政運営をす

され原案のとおり可決されました。

▼23災第176号机漁港防波堤・E護岸災害復旧工事の変更請負契約の締結に関する専決処分の報告について
工事請負契約を75万9500円増額し変更後を1億6010万円とするもの。

受注者 大豊建設(株)東北支店
▼島越地区集落排水施設島の沢及び大須賀浄化槽整備工事の請負契約の締結に関する議決を求めることについて
島越地区集落排水施設島の沢及び大須賀浄化槽整備工事の請負契約を締結するもの。

・契約金額 8085万円
・請負者 大豊建設(株)東北支店
▼机浜番屋群等再生事業机簡易水道配水管布設工事の請負契約を締結するもの。

机浜番屋群等再生事業机簡易水道配水管布設工事の請負契約を締結するもの。
・契約金額 6405万円
・請負者 大崎建設(株)

▼平成25年度一般会計補正

ることは当然のことであると考えており、そういった意味においてゲームセットという表現をしたところでは、初心を忘れることなく、同じ目線で村民の声に耳を傾け、説明責任を果たすこと、希望を共有し、ともに歩むこと、そういう政治を目指して参りたい。

〈質問〉 アワビ稚貝は26年度より震災前の供給体制になる計画ですが、アワビともに放流から約4年後に漁獲され、長い年月がかかり、村の助成が必要で、この資源に対する助成が求められていますが、村の考えを伺いたい。

〈村長〉 本村における主要な魚類であるサケ、アワビの資源回復については漁業所得に大きく影響し、村としても種苗確保や購入補助について支援を検討して参りたい。アワビは、被災した岩手県栽培漁業協会の生産施設の復旧、稚貝出荷が可能になり、来年度は従来の半分ほどの出荷量で、27年度にはもとの生産に戻ると聞いています。種苗の確保は、積極的に県や協会に働きかけ、県の補助事業を見て対応を検討して参りたい。サケ、アワビとも放流してから三、四年の漁獲になることから、この間には特にも支援が必要だと思つています。

▼平成25年度一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出の総額に5146万1千円を追加し総額を213億5147万5千円とするもの。主なものは、次のとおり。

・村道と野平井賀線道路改良舗装事業 4720万円計上
▼平成25年度簡易水道特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出の総額に210万円を追加し総額を11億8880万7千円とするもの。主なものは、次のとおり。

・共同利用倉庫水道管布設事業 210万円計上

第8回臨時会
(7月3日)

※第8回臨時会は1日の会期で開催され報告1件、議案3件が審議され原案のとおり可決されました。
▼23災第133号平井賀漁港(羅賀地区)第2東防波堤災害復旧工事の変更請負契約の締結に関する専決処分の報告について
工事請負契約を75万9500円減額し変更後を1億1880万4千円とするもの。

・受注者 株式会社タカヤ
▼田野畑村観光船発着施設整備工事の請負契約の締結に関する議決を求めることについて
田野畑村観光船発着施設整備工事の請負契約を締結するもの。
・契約金額 1億1739万円
・請負者 株式会社タカヤ

発議案2件可決

最終日の9月27日、追加議案として議員による発議案が2件提出され、いずれも可決されました。一件は、「道州制導入に断固反対する意見書」で提出者は中村勝明議員、賛成者は菊地大議員・小松山久男議員です。もう一件は、「被災者の医療窓口負担の免除継続を求める意見書」で提出者は中村勝明議員、賛成者は宮森鋭幸議員・菊地大議員で可決後いずれも関係省庁へ提出しました。

第10回臨時会
(8月15日)

※第10回臨時会は1日の会期で開催され、議案1件が審議され原案のとおり可決されました。

▼財産の取得に関する議決を求めることについて

取得する目的 災害公営住宅に供するため。

○木造戸建て住宅4戸
契約の相手方 代表企業(有)
熊谷住建ほか構成員等3者
取得価格6253万6950円

○木造戸建て住宅3戸
契約の相手方 代表企業佐藤建設(株)ほか構成員等3者
取得価格5390万9100円

○木造戸建て住宅2戸
契約の相手方 代表企業熊谷建設(株)ほか構成員等2者
取得価格3877万2300円

○木造戸建て住宅1戸
契約の相手方 代表企業(株)佐藤組ほか構成員等2者
取得価格1945万5450円

第9回臨時会
(7月24日)

※第9回臨時会は1日の会期で開催され報告1件、議案3件が審議

任期後半に向けて
常任委員会を再編成

村議会定例会で改選時期を迎えた常任委員会、議会運営委員会、政務調査会、議会広報編集委員会の選任が行われ、任期後半に向けた議会体制が一新されました。任期はいずれも平成25年9月20日から平成27年8月27日までです。

〈総務教育民生常任委員会〉

▼委員長 中村勝明
▼副委員長 宮森鋭幸
▼委員 中村芳正 小松山久男

〈産業建設常任委員会〉

▼委員長 工藤求
▼副委員長 佐々木功夫
▼委員 佐々木芳利 菊地大 上村繁幸

〈議会運営委員会〉

▼委員長 佐々木功夫
▼副委員長 工藤求
▼委員 中村勝明 上村繁幸

〈政務調査会〉

▼会長 佐々木功夫
▼副会長 中村芳正
▼理事 工藤求 菊地大
▼監事 小松山久男
〈議会広報編集委員会〉
▼委員長 中村勝明
▼副委員長 宮森鋭幸
▼委員 中村芳正 小松山久男



わが家の アイドル

高橋 晃龍^{こうたつ}くん (♫) 2歳11カ月
虎志^{とらじ}くん (♫) 1歳10カ月
和美さん・歩美さん=菅窪=

お母さんからのひとこと

2人とも戦隊ヒーローが大好き。いつも一緒に、おもちゃを取り合いながら遊んでいます。みんなの注目を浴びたい晃龍と、自分の世界に入り込む虎志。パパのように野球をやり、いつか兄弟がバッテリーを組んだ姿を見たいです。まずは2人とも健康に育ってね。

編集ごぼれ話

10月号の広報クイズへの応募は、私が広報担当になってから最多の27通。快くサインしてくださった福田こうへいさん、ありがとうございます。そして当選された皆さん、おめでとうございます。サイオン色紙は近日発送予定です。お楽しみに。▼届いたはがきには、クイズの答えの他にイラストやメッセージが添えられたものが多数。「広報の届く日が毎月楽しみ」「頑張つて」の温かい言葉に、元気をいただきました。ありがとうございます。残念ながら当選とならなかった皆さん、11月号の広報クイズは復興祈念祭に出演いただいた皆さんのサイン色紙プレゼントです。今回も応募、お待ちしております。▼復興祈念祭と前夜祭に甲地鹿踊の一員として出演。舞った後は取材をする予定でしたが、激しい踊りでフラフラになり断念しました。▼インフルエンザ予防接種が始まりました。今年も診療所での接種は無料。早めに受けて、みんなが感染や拡大を防ぎましょう。(政策推進課 佐々木和也)